



# にじのはし幼稚園 園だより



令和3年11月号  
港区立にじのはし幼稚園  
園長 石川典子

先週のにじっこ運動会では、幼児が元気に競技に取り組む姿を見ていただきました。当日は、感染症対策にご理解・ご協力いただき、ありがとうございました。

幼児は、広いアリーナや校庭で思い切り走ったり、音楽に合わせてダンスや体操で色々な動きをしたり、おうちの方と一緒に喜んで競技をしたりしました。年長児は、友達と気持ちを合わせてパラバルーンやリレー、司会などに取り組み、学年の目標に向けて一人ひとりが力を発揮していました。

幼児が、生き生きとした表情で伸び伸びと体を動かしている姿から、園生活を通しての成長が見られ、うれしい一日となりました。保護者の皆様も、お子さんの成長を感じていただけたことと思います。

さて、ご家庭での運動会の話題はどのような内容でしたか。「〇〇が楽しかった」「〇〇がんばったよ」「負けて悔しかった」など、経験したことや感じたことなどを、お子さんが身振り手振りを交えて、話したことと思います。保護者の方にじっくりと話を聞いてもらい、伝える喜びや受け止めてもらえた安心感を感じたことでしょうか。

幼児は心動かされる経験をすることで、感じたことを自分なりに表そうとします。おうちの方や友達、先生など周囲の人に伝える喜びや、表現する面白さを感じるようになり、伸び伸びと表現する喜びを味わうことで、様々な表現への意欲を高めていきます。幼児にとって『感じたこと体験したことを話す』ことは大切な経験です。

また、話をするときの『言葉』は、思考を支えるものです。「なぜこうなったのか」「どうしたらよいのか」と考えるとき、相手に『言葉』で伝えることや、自分の心の中で『言葉』を用いて対話するなど、『言葉』によって考えを深めていくことができます。幼児期に『言葉』を豊かに育むことは、思考につながる大変重要なことです。小学校以降の学習や生活、人との関わりの基盤にもなります。人が生涯を豊かに生きるために存在する『言葉』は、人の気持ちを感じたり、他者と思いを共有したり、自分の今の在りようを意味付けることができるものです。

ご家庭では、お子さんの話にゆったりとした気持ちで耳を傾け、お子さんの考えていることや感じていることに、共感したり、面白がったりしてください。親子の豊かな会話が、お子さんの気持ちを豊かにし、思考力や表現力、感性の育ちにつながっていきます。

